

ニチレイロジグループ 神戸六甲物流センター稼働

通関・保管、付加価値サービスをワンストップで提供



堀内博文ニチレイロジグループ本社執行役員兼キョクレイ代表取締役社長は、このほど開催した施設見学会であいさつ。「キョクレイは果汁とチーズに特化し続けている冷蔵倉庫。これまで横浜を拠点に展開してきたが、神戸六甲物流センターは西日本エリアにおける果汁、乳製品の基幹拠点として物流需要に対応し、高付加価値ワンストップサービスを提供するほか、大黒物流センター（横浜）との一体運営による業

務の効率化を図る」などと語った。新センターの投資額は92億5300万円。兵庫県神戸市東灘区向洋町西6-13-4に所在。最寄り駅は神戸新交通六甲アイランド線マリノアパーク駅、徒歩13分。阪神高速5号湾岸線「六甲アイランド北」インターチェンジから約2・7km、神戸港からも近い好立地に加え、同エリア内にロジグループ拠点もある。六甲アイランドから駒栄の大坂湾岸道の設備予定もあり、西日本への配送拠点としても好ロケーション。設備能力は2万7691トン。冷蔵庫棟は4階建、基礎免震構造。事務所棟は鉄骨造3階建。

最先端のセキュリティシステムを導入し、顔認証システム、カード式入退館システム、トラック予約システムなどを有する。昇降設備はエレ

検品室を計3部屋設置し、メイン商材である飲料原料と乳製品の検品にも対応可能。うち1部屋は排水処理設備を備えており、水洗いもできる。動物検疫の指定検査場所の認定も受けており、厳格な衛生管理でドラムからのサンプリング作業も対応できる。検品室

洋町西6-13-4に所在。最寄り駅は神戸新交通六甲アイランド線マリノアパーク駅、徒歩13分。阪神高速5号湾岸線「六甲アイランド北」インターチェンジから約2・7km、神戸港からも近い好立地に加え、同エリア内にロジグループ拠点もある。六甲アイランドから駒栄の大坂湾岸道の設備予定もあり、西日本への配送拠点としても好ロケーション。設備能力は2万7691トン。冷蔵庫棟は4階建、基礎免震構造。事務所棟は鉄骨造3階建。



水平搬送ラック

ベーター1基、垂直搬送機5基を冷蔵庫棟に設置。太陽光パネル843枚、接車バース12基。水平搬送ラックを導入し、レーンの手前にシャトル台車を置くだけで商品を奥に格納、または手前に搬出することが可能となるため、作業員の動線短縮による作業効率の向上が図れるとともに、通路が不要になることで保管効率の向上にもつながる。また、向かい側にプッシュバック式ラックを設置して、併用しながら運用することで、より保管効率を高めている。

世界中に、おいしさをリレーする。

ニチレイはつないでいます。

戦後まもなく生まれた私たちは、冷凍の力によって、日本中に栄養を届けることに向き合いつづけてきました。

そして今は、低温物流をさらに進化させ、世界中の食卓へ、おいしさをゆきわたらせています。食の格差のない未来を目指して、ニチレイは今日も、世界中を駆け巡っています。

どんな課題も、料理してみせる。



テレビCMはこちら ▶▶▶





解凍室

内にも冷凍機を設置しており、細かな温度調節も行えるため、検品作業に最適な環境を提供できる。滅菌された機材を使用して飲料原料の商品からのサンプリング作業にも対応している。解凍室では、庫内温度 10℃の部屋で、多数のファンで空気を循環させて解凍を行い、年間を通じて安定した品質でサービスを提供。細かい温度管理も特長で、ナチュラルチーズを熟成させる微妙な温度調節も行っている。センターでは冷却設備から排出された熱量を再利用して解凍庫の温度を保つ廃熱利用設備を導入しサステナビリティを推進している。

ドライインラックは 2 部屋。備え付けのラックで耐震性も高く、フォークリフトが進入可能。商品を奥から積載できる。1 部屋で約 1000P/L 収容可能

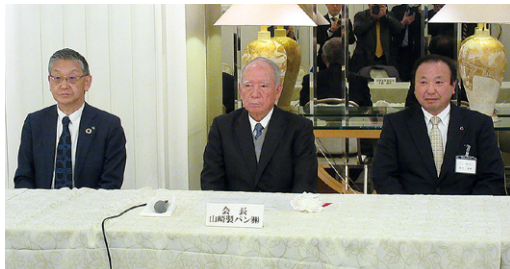
で、合 2000P/L 収容可能。

ラック格納庫では、パレットが格納できるラックを設置して商品搬入時の作業動線を短縮し、作業効率を向上している。パレット最大 240 枚格納できる。

冷凍でも商品破損のリスクが少ないドラム缶用の樹脂パレットを導入している。一般的に使用されている木製パレットでは必ず発生する木くずの付着等を防ぎ、衛生面の向上を実現している。ウイング車両専用バースを設置しているほか、荷捌き場は陽圧を保ち、埃などの混入を防いでいる。また、バースには庇を設置し、雨の日でも商品の水濡れを防ぐ。屋上には、冷凍設備の機械室や非常時に事務所棟で使用する自家発電機を設置するとともに、作業員教育用のフォークリフト練習コースも設置。

置。冷蔵庫棟と事務棟の屋根には太陽光パネルを設置する。

デジタル化による大黒物流センターとの一体運営も



左から盛田副会長、飯島会長、高井副会長代理

日本パン工業会、新年記者会見
食料支援に全力で取り組む

日本パン工業会は 18 日、都内で新年の記者会見を開催し、首脳陣が今年の抱負を語った。安田智彦副会長（フジパン）の代理で高井直樹常務が出席した。

飯島延浩会長（山崎製パン）は「令和 6 年能登半島地震」では、多くの尊い命

でもタブレットを活用すること、業務・現場の作業効率化や情報共有のスピード向上を実現する。また、情報を可視化することで作業の進捗をリアルタイムで確認できる。

検品質のオンライン化により、センターでの通関処理を大黒物流センターの事務所から遠隔で行うことが可能。ウェアラブルカメラを使用して、検査員と通関担当者がリアルタイムで受け答えできる環境を整えている。



最新鋭のフォークリフト

とも活用すること、業務・現場の作業効率化や情報共有のスピード向上を実現する。また、情報を可視化することで作業の進捗をリアルタイムで確認できる。

とも活用すること、業務・現場の作業効率化や情報共有のスピード向上を実現する。また、情報を可視化することで作業の進捗をリアルタイムで確認できる。

さまにお見舞い申し上げます。復旧の困難さが明らかになってきた。パン業界は農林水産省などからの要請により緊急支援物資を届けることができた。国外では、ウクライナ情勢が見通せず、イスラエルとハマスの衝突やイエメンのフーシ派による船舶の攻撃やホルムズ海峡における不穏な動きなど、原料調達への懸念もあり、予断を許さない状況となっている。物流の 2024 年問題や物価上昇を上回る賃金の上昇でデフレを脱却できるか、パン業界も気を引き締めていきたい。

高井直樹副会長代理（フジパン）は「元日の能登半島地震でお亡くなりになられた方、被災された方にお悔み、お見舞い申し上げます。地域の日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。非

常時、パン業界には支援するという信念が代々受け継がれてきた。社会課題に対応するためにも、茨城県の下妻工場が稼働し、関東に

おけるパン生産能力を向上させた。女性の社会進出など、社会環境の変化に対応し、お客様に感動してもらえるよう努力していく。

(T)

正田

特選大豆醤油

二段熟成

正田醤油株式会社

昔読んだ文庫本が懐かしくなり、鬼平犯科帳と剣客商売を電車内で読んでいた。黄ばみと言うより褐色化が相応しいページを捲り、老眼鏡を通して活字を追う。指の乾燥が物語の進行を妨げるのかもしれない。両シリーズは時代劇専門チャンネルで繰り返し視聴しているが、原作とテレビではストーリーそのものの登場人物に微妙な違いがある。それでも、原作はあった、TV はこうだった、などと比べるのも一興だ。

▼そして何より、当初に感じていたこと、30 年以上経過した今に感じるものが違う。例えば当時は盗賊や悪者に感じていた悲哀。今では主人公やその取り巻きにも感じるようになった。また、すぐ泣くようになった。

▼変色した古本。古い活字。当時の装丁。独特の匂い。感じ方は様々だが、個人的には味があると思う。だが、自分の身体に置き換えたなら、若い頃の無茶が祟って、過度の日焼けによる沁みがある。味などあるはずがない。

鍵穴